

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標 (アンケート回答率・生徒学校 94%、生活 97%)	成果評価
プラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4: 全教員で行った。	3	4: 生徒学校評価(22, 23, 25)、生徒生活アンケート(2~4)、保護者学校評価(20)の平均が 90%以上	3
			3: 80%以上の教員で行った。			
			2: 60%以上の教員で行った。			
			1: 60%未満であった。			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4: 全教員で行った。	4		
			3: 80%以上の教員で行った。			
			2: 60%以上の教員で行った。			
			1: 60%未満であった。			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4: 全教員で行った。	4		
			3: 80%以上の教員で行った。			
			2: 60%以上の教員で行った。			
			1: 60%未満であった。			
		体育の授業中において、筋肉・体幹等のトレーニングを行う。	4: 90%以上行っている。	3		
			3: 80%以上行っている。			
			2: 50%以上行っている。			
			1: 50%未満であった。			
					2: 生徒学校評価(22, 23, 25)、生徒生活アンケート(2~4)、保護者学校評価(20)の平均が 60%以上	
					1: 生徒学校評価(22, 23, 25)、生徒生活アンケート(2~4)、保護者学校評価(20)の平均が 60%未満	

これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
	評価	コメント
<p>がん教育を始め健康教育を充実し、免疫力を高め感染症に負けない体づくりを推進するとともに、保健体育科の男女共修により生涯スポーツの意識を高めた。</p> <p>関連する学校自己評価の成果指標(昨年度 81.3%)は 81.9%で 0.6 ポイント上昇したが目標値には達していない。調査項目の中で生徒学校評価「学校の授業(体育)での取り組みで基礎体力が向上した」が 71.3%(昨年度 84.3%)と特に低く課題である。原因を精査したい。</p>	A	・コロナ禍で体を動かす機会が減少していたので基礎体力の向上が難しかったように思います。徐々に体力も向上することでしょう。人生100年時代です。生涯スポーツの意識を高めることは、よい取り組みだと思いました。
	13	・生徒生活アンケートからは、早寝早起き朝ごはんが定着している生徒が増加していることが分かりました。食事・睡眠とともに、運動は大事な要素であり、体育授業や部活動をはじめ、運動に親しみ、進んで体を動かす場が必要だと思います。
	B	・六中HPの「今日の献立」の紹介文をいつも楽しく拝見させていただいています。これからもメニューを見るのを楽しみにしています。
	1	・生徒生活アンケートの3項目は昨年度よりも高くなっているのは良いと思います。今後の改善策でも触れていますが、生徒評価の「学校の授業での取り組みで基礎体力が向上した」が低くなっている点が気になります。
	C	・心技一体は健康の基本。最近は増々生徒たちの体格の向上に目を見張らせますが、生活習慣や心の生長と連動してこそ、得られるものが大きくなると思います。
0	・給食指導においてもSDGsの取組をされ、素晴らしいと思います。 ・体育の授業と、筋肉や体幹を鍛えるためのトレーニング、基礎体力向上のためのトレーニングは別物というか、トレーニングを意識するのであれば授業の内容が異なるのではないかと推察します。六中では食育やフードロス削減を意識した取り組みがあり、子供達の将来に大切な考え方だと思うので、引き続き、健康のすぐれた生徒を増やし、意識づけを行えるといいと思います。	
D	・若者らしい勢いのある姿を希望する。	
0	・免疫力を高める体づくり、健康教育はこれからの時代に必要ですので、体育科の先生方に期待しております。 ・各家庭での食事の取組がわかる。ご家庭の協力に感謝する。コロナ禍を過ごしてきた生徒たちなので、運動習慣をつけさせるのは大変だと思う。とは言え、早い子は高校に行くとほとんど体を動かす機会がなくなるので、ぜひ頑張っていただけとありがたい。 ・食事と運動は健康の基本です。早くこの大切さに気付いてほしい。	

- A: 自己評価は適切である
 B: 自己評価はおおむね適切である
 C: 自己評価は適切ではない
 D: 評価は不可能である